

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成については、「見通しをもつ」で学ぶ内容を確認し、「学びのカギ」を手掛かりに学習を進めるとともに、「言の葉ポケット」で学びを深め、「振り返る」で資質・能力の定着を図る工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びのカギ」一覧において、領域ごとに1年間の学習内容がまとめられ、生徒が身に付けた力を確認し、学習に生かせる工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、「学びのカギ」一覧を示し、学びを生かす場面を紹介しながら学ぶ意欲を高めるような工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、目的や相手に合わせた案内文の作成や、地域の課題について話し合う学習ができるようになっている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語（書写）】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成に関しては、学習手順が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階となっており、「学びのカギ」において学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自分で課題を発見させたり、「コラム」において、文字に関する様々な問いを投げかけ、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆使いのポイントを理解しやすくする工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒がこれまでの学びや経験を生かすことについては、巻末「日常に役立つ書式」において体験活動のメモ、さらにはメールの通信文を例にあげることで文字に関心が向くように工夫されている。
- 生徒が自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、「全国文字マップ」において身近な文字や使用例を通して文字文化へ関心が向くよう工夫されている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（地理的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、その手がかりとなる「見方・考え方」やコラム「地理+α」を基に追究し、最後に、「確認」「表現」コーナーに取り組むことで、学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各小単元に「議論してみよう」があり、小単元ごとに獲得した知識を生かして、議論できる問いを設定し、生徒が主体的に学ぶことができるような工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習の見通しをもたせたり、ポートフォリオを活用することで思考の流れを整理したりする工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、中国・四国地方を通して人口問題を理解させるとともに、「地域の在り方」では宮崎市を例に、地域の課題とその要因を考察し、解決策を構想して表現する力を育成する工夫が見られる。
- 自分の住む地域と関連付けて考えることができるよう、多様な自然災害を紹介し、学習内容を深めるコーナーで、南海トラフやハザードマップの使い方などを取り上げる工夫が見られる。
- 「持続可能な地域をめざして」という探究的な学習のページを設け、防災の視点から町づくりを考えながら、郷土に関する総合的な学習の時間につなげていく工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（歴史的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」のコーナーなどを基に追究し、最後に「確認」「表現」のコーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習をふり返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返り」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特色を考えさせる工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、現代と歴史とを関連づけて考える「先人に学ぶ」や、歴史の学習をはば広く豊かにするための「歴史＋a」を設けることで、歴史を身近に感じることができるようにする工夫が見られる。
- 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「地域に学ぶ」の特設ページを設け、身近な地域から歴史を学ぶことができる事例を紹介する工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（公民的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティ」コーナーなどで課題を追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」「表現」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、すべての本文ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」が示されたり、イラストをふまえて協働的な学びを行う「学び合い」アイコンを設けたりするなどの工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成であり、新しい事例や、生徒が身近に考えられる事例を取りあげるなどの工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「学習のはじめに」の特設ページにおいて資料やリード文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。
- 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、東日本大震災での自助・地域における共助・行政による公助について、それぞれの事例や意義を取り上げるなどの工夫が見られる。
- 「チャレンジ公民」という探究的な学習ページを設定し、「自分たちの町の首長を選ぼう」というテーマで学習を深め、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（地図）】

1 採択教科用図書

- 帝国書院

2 採択理由

(1) 帝国書院は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 地理的分野の学習に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が掲載されており、地域の特色が多面的に理解できるよう多様な題材が選定されるなどの構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、問いのコーナー「地図で発見！」を設けて、地図の読み取りを深めさせるなどの工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、世界の各州において、自然環境や生活・文化・産業などをイラストで表記した鳥瞰図を掲載することで、関心を高めながら特色がより視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。

(2) 帝国書院は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が地図に関心を持ち、地図帳を使った調査ができるよう、二次元コードを使って資料を補うとともに、各地図や資料にSDGsマークをつけて、SDGsとの関連を示している。
- 各ページに「地図で発見」の欄を設け、生徒が地図の見方を身に付けながら、学びやすいように工夫している。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、帝国書院の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【数学】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 数学科の目標を達成するために、基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめるふり返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話し合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
- 数学的な見方・考え方を働かせるために、「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ単元末に分かったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性を図るため、単元内にある節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- これまでの学びや経験を生かすことについては、「ステップ方式」の利用問題で、解決の過程をふり返り、新たに発生した疑問をもっと調べてみたいと思ったことに進んで取り組む態度を育成するような工夫が見られる。
- 生徒一人一人の学力を身に付けさせるために、単元末の「学びを身につけよう」で、多種多様な問題を解くことができ、巻末の「数学広場」で興味・関心や習熟度など個に応じて学ぶことができるような工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【理科】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 理科の目標を達成するために、単元の導入において、「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」を設け、様々な知識を活用して解決する問いを設定し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。また、単元末に「学んだ後にリトライ！」で同じ問いを設け、単元を通した学びを科学的に探究できるような構成・配列等の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」により生徒の主体的な学習を支援している。また「Action活用してみよう」など、既習事項を活用して思考・表現する場面を設定することで学びを深めるような工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性を高めるために、学習の各段階でICTをどの場面でどのように使うのかを明記している。また、章ごとに設定した「Review ふり返ろう」では、知識・技能や思考力・表現力を意識できるような工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- これまでの学びを生かすために、章の初めに「つながる学び」を示し、二次元コードで既習事項を確認できる工夫が見られる。
- 「防災減災ラボ」「お料理ラボ」では、地域や日常生活と関連付けて考えられる工夫が見られる。さらに、本地区の実態への配慮では、「防災減災ラボ」において身近で発生しうる災害に対し知識を生かせる工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【音楽（一般）】

1 採択教科用図書

- 教育芸術社

2 採択理由

(1) 教育芸術社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を実現させるために、ねらいに応じて教材や学習活動を選択することができるような工夫がされている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材が構成され、一目で分かるように見開きのページで示す工夫が見られる。
- 生徒の主體的・対話的で深い学びの実現を図るために、1年、2・3年上の表現・鑑賞領域に「学びのコンパス」のページが設けられ、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。
- 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽をより身近なものとして捉えられるよう各界で活躍する方から中学生へのメッセージが掲載されている。また、キャラクターの会話により学習活動のポイントを示すなど、生徒の気付きを促す工夫が見られる。

(2) 教育芸術社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が自身の学びや経験を生かすとともに、住んでいる地域と関連付けて考えるために、民謡や歌舞伎、能、神楽、盆踊り等、県北地域にも関わりの深い伝統芸能や音楽が全学年で系統立てて紹介されている。特に、「刈干切唄」は全国の民謡地図の中において、「高千穂の夜神楽」は郷土の祭りや芸能地図の中において学年をまたいで紹介されている。
- 演奏者からのアドバイスや、県北地域にゆかりのある能や能面などについて二次元コードにより映像で紹介され、郷土の音楽や伝統芸能の理解を深め、愛着をもたせる工夫がなされている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育芸術社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【音楽（器楽）】

1 採択教科用図書

- 教育芸術社

2 採択理由

(1) 教育芸術社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 器楽学習の充実のために、管楽器3種類、弦楽器3種類、打楽器2種類が取り扱われ、西洋楽器、和楽器の順で配列されている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材や教材が分かりやすく示されている。
- 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「学びのコンパス」というコーナーが設けられ、楽器の合わせ方や重なり方について自分の考えをまとめ、意見の交流を通して対話によって学びが深められるように工夫されている。
- 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは、一流の演奏家の言葉と写真が掲載され、楽器を演奏することのきっかけと情熱を知ること、音楽活動の楽しさをイメージすることができる工夫が見られる。

(2) 教育芸術社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が自身の学びや経験を生かすとともに、住んでいる地域と関連付けて考えるために、郷土芸能と関わりのある楽器を豊富な写真と解説等で詳しく紹介している。
- 県北地域の郷土芸能に関連深い篠笛や三味線、太鼓等の楽器を取り上げることで、郷土の音楽や伝統芸能に理解し、愛着をもたせる工夫がなされている。特に打楽器では世界の楽器を掲載し、二次元コードで演奏動画を紹介することで、世界の音楽を理解させる工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育芸術社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【美術】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 美術科の目標を達成するために、表紙や巻頭の見開きページの作品から題材につなげていくことで、学びのつながりを意識させるとともに、各学年の発達の特徴に即した題材の構成・配列の工夫が見られる。
- 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、実際の授業の画像が用いられ、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるような工夫など、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。
- 3年間の発達の段階に合わせて系統立てられた学年ごとの題材が設定され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びを支える資料」を設け各学年のねらいに関連した知識及び技能の習得に加え、「多様性と共同制作」「社会と関わる美術」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通して、3分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、見開きを使って大きく作品を見せ、折り曲げて立たせるなどの操作が設定されており、生徒の創作意欲につながるような工夫が見られる。また、「美術館へ行こう」では、美術館の様々な側面に触れるなどの生徒の興味を引く工夫が見られる。
- これまでの学びや経験を生かすことについては、「学びを支える資料」として、「技法」「鑑賞」「色彩」にまとめるなど、知識・技能を引き出しやすい工夫がされている。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、「祭りを彩る造形」では、故郷復興プロジェクトを掲載するなど、社会の中の美術の働きについてより身近に感じさせる工夫がされている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【保健体育】

1 採択教科用図書

- 東京書籍

2 採択理由

(1) 東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」の2つの章と「体育編」の1つの章でまとめてあり、特に学習内容と関わりある時期に学ぶことができるような構成の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元冒頭にある「見つける」では日常経験や既習事項を基に課題を捉えさせることで、主体的に解決に取り組むことができる工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、読みやすい文字の大きさや行間に配慮し、多彩なデジタルコンテンツを必要に応じて活用できる等、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。

(2) 東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、各章のはじめに、小学校との系統性や関連する小学校の学習内容が示され、また、各小単元の「見つける」では、日常経験や小学校で学習したことを基に考えさせたり、話し合わせたりする導入の工夫が見られる。
- 「健康を守る社会の取組」において、保健・医療機関の機能や役割、保健活動が掲載されており、「広げる」では、地域の広報誌やウェブページを活用し、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるような工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【技術・家庭（技術分野）】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 技術科の目標を達成するために、生活や社会の中にある技術に気付かせながら基礎・基本を習得させ、「問題解決→実習例→学習のまとめ」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を身近な製品の特徴から気付かせるなどの工夫が見られる。
- 「知識・技能」を習得するために、作業の手順、植物の育成方法、工具の使用法等を写真や動画にまとめ、「CHECK」で知識・技能の習得を確認する工夫が見られる。
- 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、製作等の手順に沿って分かりやすく作業を進めることができるように生徒のキャラクターを登場させたり、二次元コードから動画や資料などのデジタルコンテンツを活用したりできるようにするなどの工夫が見られる。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、「リンク」「他教科」「小学校」のマークを用いて、関連付けがなされるとともに、身近な問題を発見することから問題解決的学習をとおした活動に取り組みやすくする工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、生徒が地域の課題を解決する学習を中心に「技術の見方・考え方」を学び、全ての実習例で問題解決の手順を具体的に理解することができるような工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【技術・家庭（家庭分野）】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

(1) 開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 家庭科の目標を達成するために、自己と自分を取り巻く環境や、「これまで」「現在」「これから」の時間軸等、全体を俯瞰した多様な視点から学習を捉えさせることで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるような構成の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開するために、学習のまとまりごとに見通しがもてる目標を設定し、生活の中から課題を見つけて「何を学ぶか」を明確にして主体的に取り組める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、学習者である中学生の等身大のキャラクターに本音を言わせることで、疑問やヒントを投げかけ、生徒が共感したり自分自身を再度見つめたりして学習に取り組みやすいよう工夫されている。

(2) 開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、生徒が自分の生活と関連させられるように、日常の食生活の学習では、調理済み食品を使用した調理の実践例を多く提示し、家庭で実践しやすくしたり、その調理を災害時の食事としても利用できたりするような工夫が見られる。
- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、小学校で学んだ内容及び他領域や他教科との関連性について、各ページの定位置に明記されていることで、既習事項や他教科とのつながりを意識できるような工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、多様な家族の形についての図示や、ヤングケアラーやウェルビーイングなど時事問題を取り上げたり、災害に関する特集では想定される事態を時系列で掲載したりする工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【保健体育】

1 採択教科用図書

- 東京書籍

2 採択理由

(1) 東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」の2つの章と「体育編」の1つの章でまとめてあり、特に学習内容と関わりある時期に学ぶことができるような構成の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元冒頭にある「見つける」では日常経験や既習事項を基に課題を捉えさせることで、主体的に解決に取り組むことができる工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、読みやすい文字の大きさや行間に配慮し、多彩なデジタルコンテンツを必要に応じて活用できる等、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。

(2) 東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、各章のはじめに、小学校との系統性や関連する小学校の学習内容が示され、また、各小単元の「見つける」では、日常経験や小学校で学習したことを基に考えさせたり、話し合わせたりする導入の工夫が見られる。
- 「健康を守る社会の取組」において、保健・医療機関の機能や役割、保健活動が掲載されており、「広げる」では、地域の広報誌やウェブページを活用し、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるような工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【道徳】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 道徳科の目標を達成するために、9つのテーマでゆるやかに全教材をユニット化し、異なる内容項目からテーマにアプローチすることで、多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びができるように、「考えよう」では2つの問いで学びのテーマに迫り、「チャレンジ 問いを立てよう」では、生徒自らが問いをもち、探究することができるような工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、「考えよう」では学びのテーマを示し、テーマに迫るための2つの問いや発展的な問いを示すことで、生徒が1時間の学びの流れを見通しやすくするような工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 家族の内容については、家族愛をテーマとしたエッセイを教材として取り上げることで、家庭の役割や家族の一員としての自分の役割を考えさせるなど、自分と家族についての考えが深められるような工夫が見られる。
- 地域の内容については、様々な地域や伝統文化に触れる教材を取り上げることで、多様な価値観に触れながら、地域の伝統文化のよさを大切にする心を育むことができるような工夫が見られる。また、巻末にある日本における郷土玩具や伝統文化、先駆者に関する資料を活用することにより、地域のよさに興味をもたせ、郷土の伝統文化に対する考えを深めることができるような工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。